



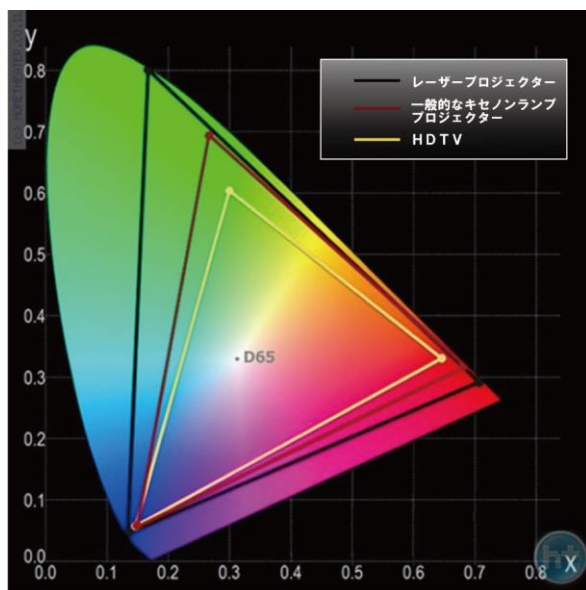
“BESTIA(ベスティア)”それは、次世代の映画館フォーマット。

最新鋭のレーザープロジェクションシステムと、3D 音響が一体になることにより、観客がまるで映画の中に入ったような感覚を生み出します。

CHRISTIE® RGB Laser Projection

日本初導入 4K・9P レーザープロジェクションシステム

日本初導入の 4K・9P レーザープロジェクションシステムが映し出す HDR (High Dynamic Range) 映像は、これまでのキセノンランプのプロジェクターに比べ圧倒的な明るさを持ちます。またコントラスト比も 2,200 : 1 に上がることにより、これまでのプロジェクターでは表現が難しかった黒をより黒く表現する事が可能になりました。黒の表現の向上により、映像に更なる深みを与えます。更に表現できる色域も広がり、よりリアルで鮮明な映像を映し出すことが可能になります。



※色域イメージ

壁面を覆う大型高性能スクリーン

壁から壁いっぱい客席を包み込むように設置されたスクリーンは、映像と観客との一体感を生み出します。また今回採用された高性能スクリーンは、一般的なスクリーンに比べ輝度に均一性を持ち、レーザープロジェクションシステムとの親和性に優れています。これにより、4K・9P・レーザープロジェクションシステムの能力を余すことなく表現する事が可能になります。



九州初導入 3D サウンドフォーマット dts-X™ produced by GDC

DTS:X™は、チャンネルではなく、オブジェクトをベースにしたオーディオフォーマットです。DTS:X™では爆発音、車のクラクションなど、映画のシーンで聞こえるあらゆるサウンドが、チャンネルの制限がない独立したオブジェクトとして存在する事が出来ます。オブジェクトベースによって自然な音場を形成する事で、よりリアルな音響空間が再現されます。更にサウンドがシアター内を縦横無尽に動き回り、観客を包み込むような新次元サラウンドの体験を実現可能にします。

GDC イマーシブサウンド

BESTIA は 5.1ch、7.1ch といった従来のオーディオフォーマットで作られたコンテンツも瞬時に BESTIA のフォーマットに最適化され対応することができます。

2D サウンドを GDC SX-4000 サーバーがリアルタイムに変換し、一般的なシアターの約 2 倍のサラウンドスピーカー全てを駆使し、立体感のあるリアルなシネマサウンドを観客に届ける事が可能になります。